

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p><b>1 多様性の支援には制度の実用性の向上を（20分）</b></p> <p>埼玉県では、昨年度に「埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例」が施行されました。この条例は、性的指向や性自認の多様性が尊重され、差別や偏見を受けることなく、安心して生活できる社会を目指すものです。鶴ヶ島市では2023年4月より「鶴ヶ島市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度」が開始されています。</p> <p>海外では同様の制度の広がりと共に、同性婚の法制化の議論が進み、同性婚を実現している国も多くあります。この制度は差別をなくし、多様性が尊重される文化を培う土壌になります。制度の更なる広がりには制度自体の実用性の整備が重要になります。</p> <p>今回は鶴ヶ島市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の実用性を確認したいと思います。</p> <p>(1) 他自治体で宣誓によって利用できる以下の行政サービスについて、鶴ヶ島市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度では利用できますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 公営住宅の申し込み</li> <li>イ 保育園等の送迎者としての登録</li> <li>ウ 市職員の給与制度（扶養手当など）</li> <li>エ 市職員の休暇制度（結婚休暇など）</li> </ul> <p>(2) 医療機関や介護施設などの病状説明や保証人などについて、同性パートナーでも対応が可能になるように、市から民間事業者への働きかけは行っていますか。</p> <p>(3) 行政サービスの実現の見通しや今後の制度拡充があれば教えてください。</p>	市長

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p><b>2 ワクチン助成金で最高の予防医学を（20分）</b></p> <p>ワクチンは症状軽減による医療費の削減、後遺症や死亡による社会的・経済的損失を考慮すると、極めて費用対効果の高い、医療経済学では「賢い」取組とされています。</p> <p>前回の定例会の一般質問では、带状疱疹ワクチンについて来年度からの助成を市として検討しているとのことでした。</p> <p>今回は専門的な知見が必要な判断について、市としてどのように行われているのかを確認したいと思います。</p> <p>(1) 带状疱疹ワクチンの助成を検討するに至った経緯や費用対効果の見直しをお示してください。</p> <p>(2) 带状疱疹ワクチン以外のワクチンについて、助成は検討されていますか。</p> <p>(3) コロナ禍では、一部の自治体で首長や議員によって科学的根拠に基づかない政策が実行されるといった悲劇的なことが散見されましたが、本市では科学的根拠に関する意見が対立するときに、どのように判断を下しますか。</p>	市 長
<p><b>3 フッ化物でむし歯予防の取組を（20分）</b></p> <p>むし歯は世界で最も多い疾患です。日本では高齢者のむし歯が増加傾向で、抜歯の原因の半数近くがむし歯とされています。</p> <p>科学的根拠に基づいたむし歯予防にはフッ化物の利用が重要で、多くの先進国で適切なフッ化物の使用によりむし歯の発生を半減させています。</p> <p>例えば、水道水に含まれるフッ化物の濃度を調整することでむし歯予防を行う「水道水フロリデーション」は多くの先進国で採用されています。過去に日本の一部の自治体でも行われており、現在の日本国内でも米軍基地内では実施されています。</p>	市 長 教育委員会教育長

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>また、幼少期にフッ化物が含まれる液体でうがいをする「フッ化物洗口」は、幼少期のむし歯予防だけでなく、大人になった後もむし歯の予防効果が持続することが分かっています。現在の日本では青森県、神奈川県、静岡県などの一部の自治体で、保育園や小中学校での集団フッ化物洗口が行われており、むし歯の有病者率を50%以上低下させています。</p> <p>(1) 水道水フロリデーションについて</p> <p>ア 水道水のフッ化物濃度を0.7ppmに調整した場合、年間にかかるランニングコストはおおよそいくらですか。</p> <p>イ 本市で水道水フロリデーションの実現を。</p> <p>(2) 保育園や小中学校での集団フッ化物洗口について</p> <p>ア 保育園で週に5回洗口を行う週5回法、小中学校で週に1回洗口を行う週1回法を市内の全て保育園及び小中学校で実施した場合、年間にかかるランニングコストはおおよそいくらですか。</p> <p>イ 本市で集団フッ化物洗口の実現を。</p>	